

広報

2021年

# ななかま

5月

臨時号 vol.2

## 市政報告特集号

### 中間市の今とこれから

中間市は、行財政改革の一環として中央公民館や市立病院など公共施設の廃止という苦渋の決断をしました。

その一方で、市の将来を見据え、高齢者や子どもたちに向けた取り組みを着実に進めています。

この臨時号では、市政報告として「中間市の今とこれから」についてご説明いたします。

#### ●行財政改革のご説明

- 令和2年度に行った公共施設の廃止や厳しい財政状況など、みなさんが不安に感じていることについてご説明

#### ●高齢者が元気なまちに

- ケアトランポリン事業と青竹ふみ体操を紹介

#### ●ふるさと納税

- 寄付金額は急上昇、ますます注目が高まる中間市の返礼品を紹介

#### ●中間市に新しい風を

- 定住人口増加と地域の活性化を目指し、子育て世代向け地域優良賃貸住宅「Livable なかま」を整備
- 高性能化光触媒技術で感染対策
- 空気製水機を導入し災害に備える

#### ●連携から変わる未来

- 未来のまちづくりのための中間市の取り組みを振り返る

# 高齢者が元気なまちに

中間市の高齢化率は県内でも高い水準にありますが、高齢者のみなさんはまさに元気そのもの。いくつになっても元気で過ごせるように、市は取り組んでいます。

## ケアトランポリン事業

介護予防事業として平成29年度から始まった「ケアトランポリンわいわい教室」。年々開講する地区が増え、市内23の自治会で500人を超える参加者で賑わいを見せていました。

その評判が広く伝わり、福岡県副知事や県内自治体はもとより、熊本県内自治体、さらにはニュージーランドといった海外から視察に訪れるほどでした。

しかし、昨年から続く新型コロナウイルス感染症の影響により教室を休止せざるを得なくなっています。一刻も早く終息し、教室にみなさんの笑顔が戻ることを待ち望んでいます。

### 参加者のメリット

- 血流の改善や脳の活性化、骨密度の上昇などに効果を発揮  
⇒高齢者の健康づくり、健康寿命の延伸につながる
- 外出するきっかけ
- 他の参加者との交流の場

### 行政のメリット

- 住民の活力増進や社会保障費の抑制が期待できる

## 青竹ふみ体操

ケアトランポリン教室が長期間中止となり、自宅で過ごす時間が増えた高齢者のみなさんのために、「自宅で手軽にできる運動」として、青竹ふみ体操を始めました。

### 青竹ふみ体操って何？

竹やプラスチックでできた青竹を使い、自分の体重を利用して行う足裏マッサージとストレッチ・筋力トレーニングなどを組み合わせた体操です。

### どのように体を動かすの？

歌手のジュディオングさんの楽曲「青春のままに」にあわせて、5分間程度青竹ふみを行います。

また、体操の前後にはストレッチや筋力トレーニングを行います。

プログラムはその人の体調や体力に応じて設定できるので、スムーズに取り組むことができます。



◀教室で使用するケアトランポリンは、直径1mのフレームにU字型の手すりが付く。安全性が高いうえに膝への負担も軽いため、高齢者の運動に適している。

### 青竹ふみ体操の良いところは？

- 「第二の心臓」といわれる足を刺激することで血流の循環が良くなることや、ホルモンのバランスを整えるなどの効果が期待できます。
- 簡単に取り組むことができ、無理なく自分のペースで運動できます。
- 青竹は持ち運びができるので、場所を選ばず、一人でも大人数でも手軽にできます。
- 活動量が増え、フレイル（虚弱）の予防につながります。

青竹ふみの動画は市のホームページで公開するめん♪  
DVDの貸し出しもするので介護保険課（☎245-7716）に連絡してめん♪



# 行財政改革のご説明

## 中央公民館、働く婦人の家、東部・西部出張所を廃止したのはなぜですか？

中央公民館と働く婦人の家は、築後40年を経過し、建物は老朽化し耐震性も確保しておらず多額の改修費用を要すること、また生涯学習センターなど類似施設で代替機能を果たせるからです。

東部・西部出張所は、中間市の人口減少などにより住民票などの発行業務が大きく減少したからです。出張所廃止が市民サービスの低下とならないよう、市役所では時間外窓口を開設しており、今後は証明書コンビニ交付を検討しています。

人口減少、急激な少子高齢化により、行政サービスの規模や市民ニーズが大きく変化しており、そうした流れにしっかり対応できるよう引き続き公共施設の適正な管理を行ってまいります。

## あらゆる予算が大きく削減されていますが、どうしてですか？

収支のバランスをとるため、事業の見直しを行っていることによるものです。

本市では平成27年度以降、支出が収入を上回る状態が続く、その穴埋めとして貯金にあたる基金を取り崩しながら収支のバランスをとってまいりました。しかしながら、その基金も残り少なくなっており、また収入の範囲で支出する体質に変えない限り安定した市政運営はできないため、市民の皆様には負担をお願いすることとはなりますが、事業の抜本的な見直しを行っているところです。

## 厳しい財政状況はいつまで続くのですか？

今後、効果的な政策を実行しなければ、厳しい財政状況はずっと続きます。

収入と支出のバランスを考えた場合、人口減少や景気低迷が続けば、当然、本市の収入も減少します。一方で、高齢化の進展や、多くの老朽化した公共施設の維持保全にかかる費用がこれまでどおりの高い水準で必要となる状況が続く限り、厳しい財政状況が続きます。そうならないためには、先に述べた収入の増加策に加えて、人口や財政の規模に合わせて公共施設の配置状況を見直すことが必要となります。

## 市立病院を廃院したのはなぜですか？

医師2人が退職したことにより経営状況が大きく悪化し、医師確保の取り組み・人件費抑制などの経営改善を図りましたが、抜本的な解決には至りませんでした。

地方独立行政法人、指定管理者、民間移譲など、経営形態改善の検討を行い、実現可能な民間移譲の方針を決定しましたが、相手先医療機関との交渉が不調となる結果となりました。

このまま病院を存続させると、令和3年度途中で金融機関からの借入金が限度額7億円を上回ってしまい経営破綻となります。そうなれば患者様の転院先確保に要する時間もなくなり、病院利用者の方に深刻な影響を与えてしまうのです。あわせて毎年市の一般会計から多額の繰入金支出が必要です。そうした一般会計からの支出は、市立病院を利用していない方が納めた税金を使うことになり、他の行政サービスに影響が生じかねません。さらに施設は著しく老朽化しており早期の建て替えが必要ですが、多額の費用が生じてしまいます。こうしたことから、廃院せざるを得ないという苦渋の決断となりました。

市立病院が廃院となり、みなさまには多大なご迷惑をおかけしております。中間市としては、地域の医師会や近隣の医療機関などしっかりと連携し、市民の皆様が安心できる医療提供体制を整えていきます。過去の診療など不安なことなどがありましたら、市立病院清算事務室（☎093-245-0981）へ遠慮なくお問い合わせください。

## このままいくと中間市は破綻するのですか？

人口規模や財政規模に見合った行財政運営を行えば財政破綻することはありません。

収支バランスがとれない主な要因は、支出面で高齢化などにより社会保障関連経費が増加する一方で、収入面で人口減少や景気低迷により税収や地方交付税などが伸び悩んでいることです。

何も対策をとらずにこのままの状態が続けば、近い将来、確実に財政破綻することになってしまいます。そうならないためには、人口を増やし、企業誘致を行うことで、税収などの自主財源を増やすことと併せて、徹底した支出の見直しが必要となります。

# 中間市に新しい風を

若い世代の人が住みたくなるまちづくりに加え、より親しみやすく、より安心して利用できる市役所となるように、新しいものを取り入れています。

**中** 鶴地区に子育て世代を主軸とした中堅所得者向けの定住促進住宅として、地域優良賃貸住宅「Livable なかま」をPFI手法により整備しました。PFIとは、民間の資金と経営能力・技術力を活用し、公共施設などの設計・建設・維持管理などを行う公共事業の手法で、民間のノウハウによる質の高いサービスの導入や市財政の平準化を図ることができます。同地区では公営住宅の建て替えも行われており、市の定住人口増加や中鶴地区全体の活性化を図ります。



●入居の間合先 不動産のデパートひろた中間店 ☎0120(767)550

**市** 役所のフロアマネージャーと市民課窓口職員が制服の着用を始めました。清潔感と親しみやすさ、動きやすさを求め、案内役がわかりやすく、市役所の印象を変える第一歩として採用されました。また、市民課と健康増進課の窓口には木製のカウンターと椅子を設置し、木の温もりが感じられる空間へと生まれ変わりました。今は職員のDIYによる飛沫拡散防止用シートを設置していますので、コロナ禍でも安心して利用できます。



**空** 空気から水をつくる空気製水機が市役所1階に試験導入されています。

株式会社アクアムから無償貸与されたこの製水機は、太陽光や蓄電池と組み合わせれば停電や断水時にも安全な飲料水を確保することが可能なので、災害対策機器としての活用も期待できます。環境への配慮から紙コップを用意していませんので、コップやマイボトルを持って来てご利用ください。



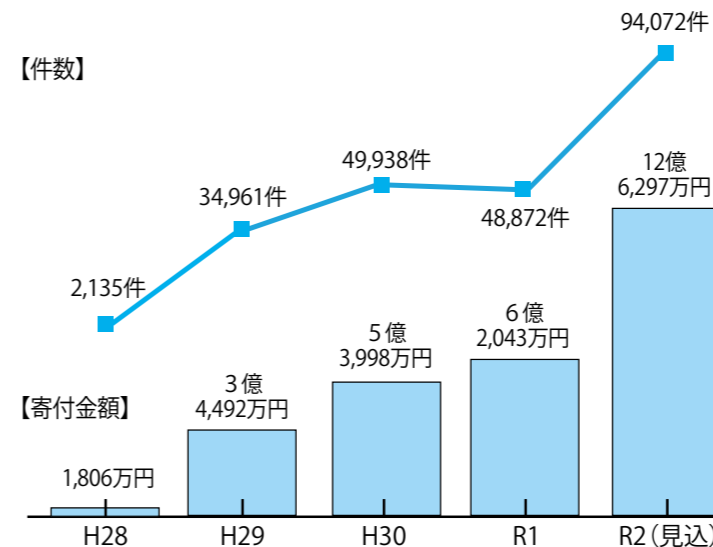
**高** 高性能化光触媒技術の導入に向けた実施テストが中間市で行われました。

九州工業大学・横野照尚教授の研究チームが開発した光触媒を市役所の洗面所と保健センターの壁や床にスプレーし、その効果を検証。室内のLEDや蛍光灯の光を受けて化学反応することでウイルスやカビ類などを分解する性能のおかげで、高い殺菌効果を確認することができました。



# ふるさと納税

中間市を応援してくださる方々や登録いただいている地元事業者さんのおかげで、「ふるさと納税」の寄付金額は毎年順調に増加しています。



寄付金額は平成29年度に3億円を超え、令和元年度には6億円を突破。さらに令和2年度の寄付金額は、前年度の2倍以上となる12億円を超える見込みです。その要因としては、市内事業者のみなさんの協力により魅力的な返礼品を取りそろえていることや、手続きのシステム効率化を行ったことなどが挙げられます。中間市を応援してくださる方々の思いをしっかりと受け止め、未来のまちづくりへとつながる貴重な財源として活用させていただいています。

## わがまちの返礼品を紹介します

応援していただいた人には、返礼品として次のような特産品をお贈りしています。市内事業者さん自慢の品を市外に住む親戚や友人にぜひ紹介していただき、中間市の魅力発信への協力をお願いします。



### 博多若杉牛もつ鍋セット

創業1981年の老舗もつ鍋店「博多若杉」のもつ鍋は、新鮮なぶるんぶるんの柔らかな国産牛小腸のみを使用した、甘い脂の口どけが魅力です。お野菜を入れるだけで、本場の博多もつ鍋が家庭で再現できます。



### マルゴめん海藻入九州醤油で煮込んだ厚揚げトッピング & 白だしスープ付

遠賀川水系の豊かな水で育った中間市のお米を米粉にし、5つの海藻を配合した「株式会社マル五」のヘルシーな米粉麺で、スープはカツオとコンブをきかせた白だしスープです。グルテンフリーなので、アレルギーを持つお子さんにも安心です。

### 空間除菌脱臭機

光触媒は、光が当たるたびにウイルス・細菌・臭いを分解除去してくれます。「株式会社フロム工業」のクリーナーは、光触媒をコーティングしたフィルターを搭載しています。また、内部には強い光を発するLEDを搭載していますので、光触媒を反応させ効率よく分解除去してくれます。



## 世界首長誓約／日本 2020.6.17

環境循環型都市を目指し、世界気候エネルギー首長誓約の日本組織（事務局：名古屋大学）に加盟しました。国内の自治体では23番目です。

### ■主な誓約事項

1. 2030年の温室効果ガス排出量は国の削減目標以上の削減を目指します。
2. 気候変動などの影響に適応し、レジリエント（強靱）な地域づくりを目指します。



## 九州大学都市研究センター 2020.12.7

国立大学法人九州大学・九州大学都市研究センターと「新国富指標」を活用したまちづくりを進めます。豊かで持続可能な社会を評価する新たな物差し「新国富指標」により、これまでの指標では難しかった人・モノ・環境の総合的な評価ができるようになるため、今後さまざまな評価への応用が期待されます。また、みなさんがより長く健康でいられる社会を目指した医学住宅などの実現に向けて活動していきます。

### ■主な連携項目

1. 新国富指標の導入
2. 共同研究等の研究協力
3. 同センターの研究者及び学生に対する、中間市におけるフィールドワーク等の研究機会の付与
4. 研究成果の地域への還元及び普及啓発の推進
5. SDGs に関すること
6. 医学住宅等による健康寿命促進の取り組み

## 大塚製薬株式会社 2020.12.21

この協定を受け、3月30日に「熱中症アドバイザー養成講座」を開催。福田健次市長と片平慎一教育長が受講し、アドバイザーの資格を取得しました。市長と教育長の取得は全国初です。適切な水分補給やイベント開催時に注意することなど、熱中症に関する正しい知識習得の機会を提供していただきました。

### ■主な連携項目

1. 健康づくりに関すること
2. 食育・栄養に関すること
3. スポーツ振興に関すること
4. 災害対策支援に関すること
5. その他、地域課題の解決に関すること

## Click Holdings 株式会社 2021.1.15

ゲーム事業や映像・音楽制作事業などを手掛け、IT分野でのエンターテインメントコンテンツを提供するClick Holdingsとの協定は、産業の振興や観光推進を目的に締結されました。

この協定により、チェーンレス自転車製造工場の市内建設やこの自転車をふるさと納税返礼品とすること、eスポーツ大会・キャラクターイベントを市内で開催することなどが検討されます。

### ■主な連携項目

1. 地域活性化に関すること
2. 雇用振興に関すること
3. ふるさと納税に関すること
4. eスポーツに関すること
5. 中間市政のPRに関すること
6. 映像及び音楽制作に関すること
7. 観光推進に関すること

## 明治安田生命保険相互会社 2021.3.16

地域の暮らしと健康を豊かにするために取り組み、地域に密着した最も身近な生命保険会社を目指す明治安田生命。同社の豊富な知識と経験を活用させていただき、みなさんの健康づくりと地域活性化につながる活動を行っていきます。

### ■主な連携項目

1. 健康増進に関すること
2. 政府も認める新たな社会課題解決型地方創生イベントに関すること
3. フットパス・ウォーキングイベントに関すること

# 連携から変わる未来

これまでに実現した8つの協定・加盟は、全てが中間市のまちづくりに賛同いただいたものです。こうしてできたつながりを大切に、私たちはさまざまな地域の課題解決に取り組みます。

## ソフトバンク株式会社 2020.9.10

ソフトバンクにとって、県内の自治体で2例目となる協定が中間市との間で結ばれました。この協定では、同社が持つICT（情報通信技術）を重要な分野に活用するだけでなく、同社社員2人が「中間市特命アドバイザー」に就任する人的サポートの提供も。今後は市職員と一緒に地域の課題解決を図ります。

### ■主な連携項目

1. 教育支援の充実に関すること
2. 子育て支援の充実に関すること
3. 防災・減災に適切に対応できる環境整備に関すること
4. 働き方改革に関すること
5. SDGs に関すること

## 株式会社イワタダイナース 2020.11.25

ピザ・お好み焼きの宅配事業「ピザクック」を運営し、市内にも店舗を構えているので、その配達網を生かした子どもの見守り活動に協力していただきます。また、人型ロボット「Pepper」\*導入費用を同社が負担し、教育委員会へ3年間無償貸与する取り組みを通して、プログラミング教育の充実につなげています。

### ■主な連携項目

1. 教育支援の充実に関すること
2. 子どもたちの安全に関すること
3. お年寄りの安全に関すること
4. 食品循環資源の協力に関すること
5. SDGs に関すること

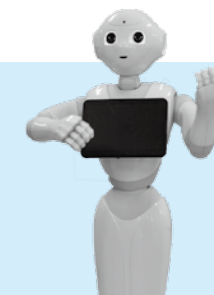


▲市内企業様から寄贈された株式会社リビングロボット開発の「メカトロウィーゴ」。

## つながりから生まれた教育

ーロボットと学ぶプログラミングー

昨年度からすべての小学校で必修化されたプログラミング教育。新たな授業のスタートは、児童も先生も初めての経験でした。しかしその不安を和らげてくれたのが、各企業とのつながりにより教育現場に導入されたユニークなロボットたちです。プログラミングへの苦手意識を、思いどおりにロボットを動かす楽しさに変え、子どもたちは学んでいます。



▲ソフトバンクとイワタダイナースの協力により授業で大活躍中の人型ロボット「Pepper」。



\*人型ロボット「Pepper」は、ソフトバンクロボティクス株式会社の商標及び登録商標です

# 株式会社ジョブ・ネット 2021.3.24

ジョブネットには、福岡を拠点に活動する人気グループ「LinQ」(写真)をはじめ多くのアイドルが所属しています。その所属タレントの画像の無償提供や市内の世界遺産・観光名所をPRするための活動へ協力していただくことになりました。

また、この協定にあわせてLinQが「中間市未来のまちづくりアンバサダー」に就任。先月のラジオのレギュラー番組では、福田市長と一緒に中間市をPRしてくれました。引き続きLinQのみなさんと協力して、中間市の魅力を発信していきます。活躍の場を広げるLinQと中間市はさらに盛り上がっていきますので、どうぞご期待ください。

## ■主な連携項目

1. 所属タレントの無償肖像提供に関すること
2. 中間市のPRを目的とした活動の協力に関すること



## 未来のためにやるべきこと

中間市は、公共施設の配置状況を見直すなど人口や財政規模に合った市政運営を行い、真の「コンパクトシティ」実現のため全力で取り組んでいます。

厳しい財政状況下にあります。本市には幸いにもたくさんの魅力と観光資源、そして何より市民のみなさんのエネルギーがあります。その力を活用させていただき、未来へのまちづくりを進めていきます。取り組みは動画で見ることができますので、ぜひご覧ください。



市公式 YouTube



■点字・声の広報なかまを発行しています

目が見えない方に「広報なかま」を点字または朗読テープにてお届けします。詳しくはお問い合わせください。

●問合せ 市長公室広報係

☎(246) 6271

